

# 塩竈市新庁舎建設に向けた基本的な考え方（概要版）

## はじめに

塩竈市役所本庁舎は昭和35年に建設され、以来今日まで60年以上の長きにわたり、広く市民に親しまれてきましたが、東日本大震災による被災や耐用年数が経過し、老朽化が顕著となっています。

また、壺番館庁舎をはじめ、庁舎機能が分散しており、利用者には手続等に応じて各庁舎間を移動してもらうなど、利便性に課題があるところです。

さらに、令和4年に宮城県が公表した津波浸水想定区域内に本庁舎が含まれるなど、災害時の対応にも支障をきたす恐れがあります。



そのため、新たな庁舎を建設するにあたっての基本的な考え方をとりまとめました。

## 1. 基本理念と基本方針

基本理念	『 市民と環境にやさしい、安全でコンパクトな庁舎 』		
基本方針	安全と安心の確保	市民サービス機能の充実	経済性と環境への配慮
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高い防災性能を有する庁舎</li> <li>災害時に迅速かつ機動的に対応できる庁舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に親しまれる庁舎</li> <li>行政サービスを安心、快適に利用できる庁舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能的でコンパクトな庁舎</li> <li>環境負荷を低減し、地球環境にやさしい庁舎</li> </ul>

## 2. 建設候補地

候補地の選定にあたり、市有地や県有地、民地から一定の面積を有する土地を抽出し、敷地面積や法規制等の観点から比較検討を行い、以下の2か所を建設候補地としました。

建設候補地	現地再建（現市役所敷地）	二又スポーツ広場
現地図		
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地に位置している</li> <li>駅からのアクセスが良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地再建に比べて敷地面積が取れる</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>現庁舎での執務を行いながら、建設できない場合は、一時移転や仮庁舎の建設が必要</li> <li>津波浸水想定区域である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン道路へのアクセスが不便</li> <li>地盤が弱い</li> <li>津波浸水区域である</li> <li>大雨時に周辺が浸水・冠水する</li> </ul>

## 3. 今後の予定

今後、この基本的な考え方をもとに、市民の皆様からのご意見をいただきながら、基本構想・基本計画を策定してまいります。

策定にあたって、建設予定地の選定や新しい庁舎の機能・規模などの進捗状況については、随時ホームページや広報などでお伝えしていきますので、よろしくお願いたします。